

7. 眼の疾患

文献

古瀬暢達、鶴浩幸、北小路博司. 合谷穴への鍼刺激が視力と眼疲労に及ぼす影響. 東方医学 2013; 28(4): 17-23. 医中誌 Web ID: 2013199195

1. 目的

鍼刺激の視力や眼疲労への影響および鍼刺入深度の違いによる効果の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (封筒法) (RCT-envelope)

3. セッティング

明治鍼灸大学、京都、日本

4. 参加者

日頃から疲れ目を感じ、屈折異常以外に特別な疾患を持たない健康成人ボランティア 30名 60眼 (平均年齢 23.7±3.6歳)

5. 介入

Arm 1: 合谷 10mm 群 15名. 鍼灸針 (直径 0.16mm、セイリン社製) を右の合谷穴(LI-4)に 10mm の深さまで刺入した後、10 分間置鍼。

Arm 2: 合谷 2mm 群 15名. 鍼灸針(直径 0.16mm、セイリン社製) を右の合谷穴(LI-4)に 2mm の深さまで刺入した後、10 分間置鍼。

6. 主なアウトカム評価項目

ランドルト環を用いた自覚的視力検査 (測定距離 5m) による、裸眼視力と矯正視力。眼疲労の程度に対する Visual analogue scale (VAS)。

7. 主な結果

裸眼視力より、前後比較では両群ともに有意に向上し($P<0.05$)、群間比較では有意差が認められなかった。矯正視力および VAS より、前後比較では両群ともに有意に改善し($P<0.01$)、群間比較では有意差が認められなかった。

8. 結論

鍼刺激により視力は向上し、眼疲労は軽減するが、鍼刺入深度の違いによる効果の差は認められなかった。

9. 鍼灸医学的言及

鍼刺激により縮瞳が生じた結果、ピンホール効果によって視力改善が見られた。

10. 論文中の安全性評価

有害事象はなかったとの記載あり。

11. Abstractor のコメント

本研究は合谷穴への鍼刺激により視力改善および眼疲労が軽減することを示唆する貴重な研究発表である。合谷(LI4)1 穴のみの有効性の評価を行った研究は珍しく、さらに有効性を示したことは高く評価される。また浅刺群においても深刺群と同様に有意な改善が見られた今回の結果は、比較的軽微な刺激が特徴の日本鍼灸の有効性を示す貴重な資源となり得る。研究デザインに関しても患者の治療に対する遮蔽およびアウトカム評価者の治療に対する遮蔽が行われるよう工夫されている点が質の高い研究の要素となっている。しかしながら、実際に遮蔽が成功したかどうかについては評価されていないこと、統計学的結果は記載されているものの臨床的有効性、つまり効果量が示されていないなどの点において改善の余地があると思われる。今後さらなる良質のデザインによって追試が行われることを期待する。

12. Abstractor and date

保坂政嘉、大川祐世 2016.10.3